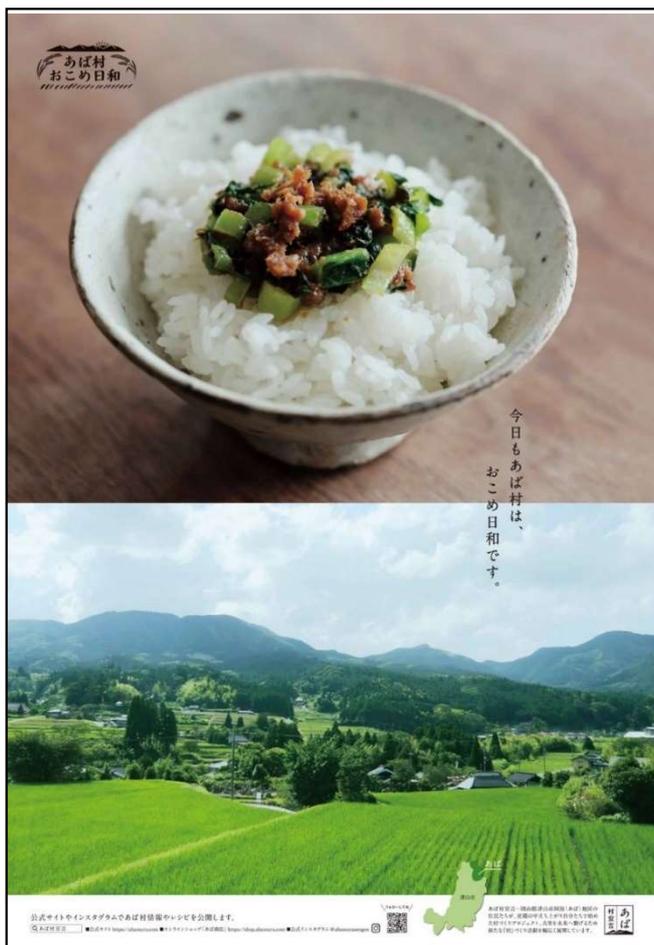


# あば村 山村活性化だより

第2号 2022.10.15 あば村山村活性化協議会



## 阿波の新品 「あば村おこめ日和」



PR用ポスター

昨年来取り組んできた阿波地区の新品開発の取り組み。これまで加工グループの皆さんが作ってきた阿波の味噌を使ってのおかず味噌、そして佃煮類を「あば村おこめ日和」として売り出しています。

阿波のもう1つの魅力は、綺麗な水と寒暖差の中で育てたお米です。真っ白い炊き立てのご飯におかず味噌や佃煮を載せて戴く、そんな商品の数々です。



おかず味噌と佃煮のシリーズ（一部）

現在、市内観光センターやシロヤマテラス、津山鶴山ホテル、天満屋岡山店、天満屋岡山空港店などでお土産品として販売していただいています。また、津山市のふるさと納税の返礼品としても取り扱っていただいています。

ネットショップ「あば商店」<https://shop.abamura.com/>でも販売中です。



ふるさと納税返礼品

## お餅のシリーズ化に向けて



山村活性化協議会では、今年度、あばグリーン公社や加工グループと連携し、阿波のお餅のシリーズ化やパッケージの見直しなどを行うことで準備を進めています。お餅のシーズンとなる年末を是非ご期待ください。

## 阿波地区に高校生や大学生が沢山やってきています。



令和3年春に阿波森林公園にグランピング施設がオープンしたこともあり、阿波地区に沢山の家族連れなどの来訪者がやってきています。

中でも、市内の高校生や県内外の大学生が体験学習として阿波地区にやってきています。5月には津山商業高校の生徒74人が、7月には美作高校の生徒80人が阿波を来訪、フィールドワーク

を行いました。また9月には兵庫県の甲南大学の学生8人が5泊で阿波の生活を体験。生徒や学生からは阿波の取組に対してのアイデアが沢山出されました。今後も継続的に阿波地域に関わっていただけるようです。

## 超小型電気自動車の実証実験実施中！

津山市は9月から11月末まで、JR美作河井駅で超小型電気自動車（3人乗り、1人乗り）の貸出事業を行っています。JR美作河井駅から阿波地区への観光に利用してもらおうとするもので、毎土、日祝日に貸し出すものです。

見かけたらお声がけをしてあげてください。



3人乗り電気自動車



出番を待つ移動販売車

## 移動販売車、週に50世帯余りを訪問

すっかりお馴染みとなったあば商店の移動販売車。現在、週に50世帯余りを訪問しています。

阿波地区内だけでなく加茂町物見地区や青柳、倉見地区の他、上齋原まで出張しています。どの地域も、近くにお店が無く、高齢者の方々に喜ばれています。

ただ、商業ベースだけで維持していくのはなかなか難しく、行政的支援なども今後必要になってくることも想定されるようです。お隣の鳥取県ではすでにそうした支援制度が来ています。

## 山村活性化協議会は地域が稼ぎ、地域で循環する仕組みを推進

あば村山村活性化協議会は地域の資源を活用し、地域が稼ぎ、地域でお金がまわる仕組みを構築し、地域を維持していくことを目標に取組を進めています。そのため農産加工品の開発・販路拡大や阿波地区への来訪者を増やす取り組みを進めているところです。あば商店の維持、機能強化も重要な取り組みです。あば商店では年間約4千万円の売上げがありますが、あば商店が無くなれば、この4千万円が地区外で消費され地域外に出てしまいます。さらに高齢者は買物難民やガソリン難民になってしまいます。

現在、小水力発電事業も事業化に向けて工事が始まっていますが、こうした色々な仕組みを組み合せながら、地域を維持していきたいと考えているところです。



あば商店とガソリンスタンド